

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
1項 商業費
4目 貿易振興費

経済通商総室（内線：7659）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ロシアビジネス拠点化推進事業	(33,067) 26,000	(0) 6,000	(33,067) 20,000			(7,067)	(26,000) 26,000	

トータルコスト 39,716千円（前年度 6,828千円）〔正職員：1.7人〕

主な業務内容 補助金関連手続、サポートセンター運営管理、連携実施等

工程表の政策目標（指標） 境港の物流拠点化及び境港の取扱貨物量増加
（貨物取扱量 目標 5,200千トン、コンテナ取扱量 目標 21,900TEU）

※上段（ ）内はふるさと雇用再生特別交付金事業計上分を含む額

説明

1 事業概要

日露間のビジネス創出に向けた企業支援体制の整備を通じて商材取引創出を進め、環日本海貨客船航路の貨物確保による航路の安定運航を図るもの。
環日本海経済活動促進協議会が委託運営を行うウラジオストクビジネスサポートセンター及び境港ビジネスサポートセンターの運営費助成を通じ、航路を活用した日露間のビジネスマッチングを促進する。

2 主な事業内容

- (1) ウラジオストクビジネスサポートセンター運営事業（継続） 19,500千円
ウラジオストク市内に設置したビジネスサポートセンターの運営費を助成し（補助率：10/10）、具体のビジネスマッチングに向けた現地での企業支援を行う。

開設日	2010年2月9日（火）	場所	ウラジオストク市内中心部
体制	ロシア人スタッフ3名（窓口兼通訳、ビジネスマッチ担当、コーディネート担当）		
役割	現地情報収集、販路開拓、輸出入手続支援、情報発信、企業等受入支援等		
実施主体	環日本海経済活動促進協議会（公募による運営委託にて実施）		

- (2) 境港ビジネスサポートセンター運営事業（継続） 6,500千円
境港市内に設置したビジネスサポートセンターの運営費を助成し（補助率：9/10）、ビジネス展開上のアドバイスや連絡調整、通訳・翻訳等を通じ、ロシア進出初期段階における企業への支援を行う。

開設日	2009年5月20日（水）	場所	境港市竹内団地255-3
役割	ビジネス展開相談・アドバイス、ロシアとの連絡調整、簡易な通訳・翻訳等		
実施主体	環日本海経済活動促進協議会（公募による運営委託にて実施）		

- (3) 境港利用ロシア貨物創出促進事業（新規・ふるさと雇用再生特別交付金事業）(7,067千円)
ロシア向け商材取扱企業等の発掘や貨物集荷のため、営業担当1名を配置し活動を行う。

委託先	県内企業等を公募により選定
所要経費	人件費、活動旅費、事務費
業務内容	ロシア向け商材取扱企業等の発掘、境港のポートセールス活動 など

3 これまでの取組状況、改善点

【指標】 貨物取扱量 目標 5,200千トン、コンテナ取扱量 目標 21,900TEU
【現状】 貨物取扱量 H20実績：4,111千トン、コンテナ取扱量 H20実績：15,271TEU

- 境港ビジネスサポートセンターを通じて初期段階のビジネス支援を行うとともに、大使館等ロシア側政府関係者との協力関係醸成、ロシア側企業等招聘による商談機会創出を実施し、航路を活用した鳥取県産農産物の試験輸出などに繋げることができた。
- 一方で、ロシアへの輸出手続の煩雑さなど課題も明らかになり、県内企業に対するきめ細やかな支援や現地での情報収集機能強化の必要性を認識。

【改善点】

- 境港及びウラジオストク双方のビジネスサポートセンターの密接な連携により、ロシア展開を志向する企業への一体的な支援体制を構築。両センターを年間を通じて運営させつつ、随時企業ニーズに対応したサポート内容が可能な体制を確保。
- 具体的な成功取引事例の創出により、更なる対露ビジネス関心企業の裾野拡大を目指す。